

学校コード F114310104810

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置

注1

届出

注2

桐蔭横浜大学 現代教養学環

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人桐蔭学園

令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	大学総務部
職名・氏名	ジチュウ オオヤナツメ 次長 大矢夏目
電話番号	045-972-5881
(夜間)	045-974-5098 (内線: 2252)
e-mail	tu-gaku@toin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

現代教養学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人桐蔭学園

(2) 大学名

桐蔭横浜大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒225-0025

神奈川県横浜市青葉区鉄町1614

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミゾカミ シンイチ) 溝上 慎一 (平成31年4月)		
学長	(モリ トモコ) 森 朋子 (令和4年4月)		
学部長	(ナミキ コウイチ) 並木 浩一 (令和5年4月)		学環長
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
現代教養学環 学士(学術)	法学関係 工学関係	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70人 70					
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	129					
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	123	0.59倍	-	0.59倍	-	
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	112					
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	41					
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.59					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生は記入しないでください。**
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	41 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の数値を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代教養学環>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目 (MAST)	桐蔭キャリアゲート	1前	2			1	1					兼15 兼3 兼3
	桐蔭スキルゲート	1前	2				1					
	データコミュニケーション入門	1後	2				1					
	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2		2							
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2		2							
小計(7科目)	-	10	4	0	0	1	2	0	0	0	兼16	
一般教育科目 (MAST B)	地域の科学	1前	2				1					兼1
	サステナブル社会学	1後	2					1				
	地域における健康課題	1前	2		1							
	コミュニティ・ファシリテーション	1後	2		1							
	ビジネスの科学	1前	2				1					
	マーケティング各論	1後	2		1							
	アントレプレナーシップ	1前	2		1							
	デジタル産業論	1後	2		1							
	異文化の科学	1前	2		1							
	言語文化論	1前	2		1							
	表現とコミュニケーション	1後	2		1							
	視覚文化論	1前	2		1							
	心の科学	1前	2				1					
	健康と心理学	1前	2		1							
	こころの世界	1前	2				1					
	青年と心理学	1後	2		1							
	地球環境の科学	1前	2		2		1					
科学技術の未来	1前	2		2								
地球と環境	1前	2										
持続可能な開発と法	1後	2				2	3					
プロジェクト入門	1後	2										
小計(21科目)	-	12	30	0	6	2	3	0	0	0	兼4	
一般教育科目 (MAST C)	地域政治論	2前	2		1							兼1
	地域観光事業論	2前	2		1							
	横浜地域学	2後	2				1					
	実践地域創成学	2後	2				1					
	マーケティング・リサーチ	2前	2		1							
	ウェブ・コミュニケーション	2前	2		1							
	現代ビジネス論	2後	2		1							
	ビジネスアイデアデザイン	2後	2		1							
	異文化リサーチ	2前	2		1							
	ファッション文化論	2前	2		1							
	フード文化論	2後	2		1							
	若者文化論	2後	2		1							
	集団と心理学	2前	2		1		1					
	幸せと心理学	2前	2		1							
意思決定と心理学	2後	2		1		1						
自己調整と心理学	2後	2		1		1						
分野横断型プロジェクト	2後	3				2	3					
小計(17科目)	-	3	32	0	3	2	3	0	0	0		
一般教育科目 (自教育科目)	体育実技Ⅰ	1前	1			1						兼1
	体育実技Ⅱ	1後	1			1						兼1
	ボランティア論	1後	2									兼1
	ボランティア実習	1後	2									兼1
	海外実習	2前	2									兼1
小計(5科目)	-	3	32	0	3	2	3	0	0	0		
一般教育科目 (キャリアプログラム)	キャリアアトラクション	2前	2		1							兼3
	キャリアセミナーⅠ	2前	2		2							兼3
	キャリアセミナーⅡ	2後	2		2							兼3
	キャリアセミナーⅢ	3前	2		2							兼3
	インターンシップ	3前	2		2							兼3
	教師論	1前	2									兼1
	教育心理学	1後	2									兼1
	教育原理・教育課程論	2前	2									兼1
	特別支援教育指導論	2後	2									兼1
	教育社会論(学校安全を含む)	2前	2									兼1
	道徳教育指導論	2前	2									兼1
	教育方法論	2後	2									兼1
生徒指導論	3前	2									兼1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目 (MAST)	桐蔭キャリアゲート	1前	2			1	4					兼7 兼7 兼1 兼1
	桐蔭スキルゲート	1前	2				1					
	データコミュニケーション入門	1後	2				1					
	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2		2							
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2		2							
小計(7科目)	-	10	4	0	0	1	4	1	0	0	兼7	
一般教育科目 (MAST B)	地域の科学	1前	2				1	0				兼1 兼1
	サステナブル社会学	1後	2				1	0				
	地域における健康課題	1前	2		1							
	コミュニティ・ファシリテーション	1後	2		1							
	ビジネスの科学	1前	2					1				
	マーケティング各論	1後	2		1			0	1			
	アントレプレナーシップ	1前	2		1							
	デジタル産業論	1後	2		1							
	異文化の科学	1前	2		1							
	言語文化論	1前	2		1							
	表現とコミュニケーション	1後	2		1							
	視覚文化論	1前	2		1							
	心の科学	1前	2				1					
	健康と心理学	1前	2		1							
	こころの世界	1前	2				1					
	青年と心理学	1後	2		1				0			
	地球環境の科学	1前	2		2		2		1			
科学技術の未来	1前	2		2				1				
地球と環境	1前	2										
持続可能な開発と法	1後	2				2	2	4				
プロジェクト入門	1後	2										
小計(21科目)	-	12	30	0	6	2	6	0	0	0	兼5	
一般教育科目 (MAST C)	地域政治論	2前	2		0							兼1
	地域観光事業論	2前	2		1							
	横浜地域学	2後	2				1					
	実践地域創成学	2後	2				1					
	マーケティング・リサーチ	2前	2		1							
	ウェブ・コミュニケーション	2後	2		1							
	現代ビジネス論	2後	2		1							
	ビジネスアイデアデザイン	2後	2		1							
	異文化リサーチ	2前	2		1							
	ファッション文化論	2前	2		1							
	フード文化論	2後	2		1							
	若者文化論	2後	2		1							
	集団と心理学	2前	2		1		1					
	幸せと心理学	2前	2		1							
意思決定と心理学	2後	2		1		1						
自己調整と心理学	2後	2		1		1						
分野横断型プロジェクト	2後	3				2	3					
小計(17科目)	-	3	32	0	3	2	4	0	0	0	兼2	
一般教育科目 (自教育科目)	体育実技Ⅰ	1前	1			1						兼1
	体育実技Ⅱ	1後	1			1						兼1
	ボランティア論	1前・後	2									兼1
	ボランティア実習	1後	2									兼1
	海外実習	2前	2									兼1
	国際コミュニケーション実習	2前	2		4							兼1
小計(6科目)	-	0	8	0	0	1	0	0	0	0	兼3	
一般教育科目 (キャリアプログラム)	キャリアアトラクション	2前	2		1							兼3
	キャリアセミナーⅠ	2前	2		2							兼3
	キャリアセミナーⅡ	2後	2		2							兼3
	キャリアセミナーⅢ	3前	2		2							兼3
	インターンシップ	3前	2		2							兼3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教育科目 (キャリアプログラム)	教育相談・キャリア教育指導論	2後	2								兼1
	特別活動・総合的な学習の時間指導	3後	2								兼1
	ICT活用スキルの理論と実際	3前	2								兼2
	アスリートの科学	1前	2			1					
	大学スポーツ論	1前	2								兼1
	ことばのスキル	1後	2			1					
	ソーシャル・コミュニケーション	1後	2			1					
	アスリートキャリア	1後	2			1					
	アスリート・クロス	2前	2			1					
	リーダーシップ教育	2後	2			1					
	ライフスキル	2前	2			1					
小計(24科目)	-	0	48	0	2	2	0	0	0	0	兼13
別科一般講義(特義)	MAST特別実習	1前・後	1			1					
	MAST特別講義	1前・後	2			1					
	小計(76科目)	-	53	271	0	12	8	8	0	0	0
専門必修科目	ロジカルライティング	2前	2			1					
	ロジカルコミュニケーション	2後	2			1					
	デジタルスキル	2後	2				1				
	データコミュニケーション	2後	2				1				
	フィールドスタディⅠ	1前	1			1					
	フィールドスタディⅡ	1後	1			1					
	フィールドスタディⅢ	2前	2			1					
	フィールドスタディⅣ	2後	1			1					
	現代社会の科学	3前	2			1					
	現代社会と学術研究	3後	2			1					
小計(10科目)	-	9	8	0	3	0	1	0	0	0	
学環専門科目	地域社会学研究法	3前	2			1					
	行政学	3・4前	2								兼1
	政治学	3・4前	2								兼1
	地方自治法	3・4後	2								兼1
	地域共生論	3前	2			1					
	地域共生実践	3後	2			1					
	マーケティング学研究法	3前	2			1					
	会計学	3・4前	2								兼1
	租税法	3・4前	2								兼1
	広告論	3・4後	2			1					
	スポーツマーケティング論	3・4前	2			1					
	スポーツマネジメント論	3・4前	2			1					
	国際コミュニケーション学研究法	3前	2			1					
	言語文化交流論	3前	2			1					
	国際観光論	3後	2			1					
	国際交流論	3・4後	2								兼1
	比較政治制度論	3・4前	2								兼1
	国際政治論	3・4前	2								兼1
	心理学研究法	3前	2			1					
	法哲学	3・4後	2								兼1
	市民形成論	3・4前	2								兼1
	心理統計解析	3前	2				1				
	社会・文化と心理学	3後	2			1					
	総合医療学概論	3・4前	2								兼1
	数学Ⅰ	2前	2			1					
	物理Ⅰ	2前	2								兼1
	化学	2前	2								兼1
	数学Ⅱ	2後	2			1					
	物理Ⅱ	2後	2								兼1
	有機化学基礎	2後	2								兼1
	物理化学Ⅰ	2後	2								兼1
	分析化学	2後	2								兼1
	機器分析化学	2後	2								兼1
	基礎光学	2後	2								兼1
	サステナブル工学研究法Ⅰ	3前	2								兼1
	サステナブル工学研究法Ⅱ	3後	2								兼1
	無機化学Ⅰ	3前	2								兼1
	無機化学Ⅱ	3後	2								兼1
	有機化学Ⅰ	3前	2								兼1
	有機化学Ⅱ	3後	2								兼1
	高分子化学	3後	2								兼1
	物理化学Ⅱ	3後	2								兼1
	力学	3前	2								兼1
	電気化学	3前	2								兼1
	電気工学	3前	2								兼1
	電磁気学	3後	2								兼1
	界面科学	3後	2								兼1
	環境分析学	3後	2								兼1
	都市と防災	3・4後	2								兼1
小計(49科目)	-	0	98	0	4	2	1	0	0	0	兼16

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目 (キャリアプログラム)	アスリートの科学	1前	2			1						
	大学スポーツ論	1前	2								兼1	
	ことばのスキル	1前・後	2								兼1	
	ソーシャル・コミュニケーション	1後	2			1						
	アスリートキャリア	1後	2			1						
	アスリート・クロス	2後	2					2				
	リーダーシップ教育	2後	2			1						
	ライフスキル	2前	2			1						
	小計(13科目)	-	0	26	0	2	2	0	0	0	0	兼5
	別科一般講義(特義)	MAST特別実習	1前・後	1			1					
		MAST特別講義	1前・後	2			1					兼4
小計(2科目)		-	3			1	0	0	0	0	兼4	
専門必修科目	ロジカルライティング	2前	2			1						
	ロジカルコミュニケーション	2後	2			1						
	デジタルスキル	2後	2				1					
	データコミュニケーション	2後	2				1					
	フィールドスタディⅠ	1前	1				0					
	フィールドスタディⅡ	1後	1				0					
	フィールドスタディⅢ	2前	2			1						
	フィールドスタディⅣ	2後	1			1						
	現代社会の科学	3前	2			1						
	現代社会と学術研究	3後	2			1						
小計(10科目)	-	9	8	0	3	0	2	0	0	0		
学環専門科目	地域社会学研究法	3前	2			1						
	行政学	3・4前	2								兼1	
	政治学	3・4前	2								兼1	
	地方自治法	3・4後	2								兼1	
	地域共生論	3前	2			1						
	地域共生実践	3後	2			1						
	マーケティング学研究法	3前	2			1						
	会計学	3・4前	2								兼1	
	租税法	3・4前	2								兼1	
	広告論	3・4後	2			1						
	スポーツマーケティング論	3・4前	2			1						
	スポーツマネジメント論	3・4前	2			1						
	国際コミュニケーション学研究法	3前	2			1						
	言語文化交流論	3前	2			1						
	国際観光論	3後	2			1						
	国際交流論	3・4後	2								兼1	
	比較政治制度論	3・4前	2								兼1	
	国際政治論	3・4前	2								兼1	
	心理学研究法	3前	2			1						
	法哲学	3・4後	2								兼1	
	市民形成論	3・4前	2								兼1	
	心理統計解析	3前	2				1					
	社会・文化と心理学	3後	2			1						
	総合医療学概論	3・4前	2								兼1	
	数学Ⅰ	2前	2			1						
	物理Ⅰ	2前	2								兼1	
	化学	2前	2								兼1	
	数学Ⅱ	2後	2			1						
	物理Ⅱ	2後	2								兼1	
	有機化学基礎	2後	2								兼1	
	物理化学Ⅰ	2後	2								兼1	
	分析化学	2後	2								兼1	
	機器分析化学	2後	2								兼1	
	基礎光学	2後	2								兼1	
	サステナブル工学研究法Ⅰ	3前	2								兼1	
	サステナブル工学研究法Ⅱ	3後	2								兼1	
	無機化学Ⅰ	3前	2								兼1	
	無機化学Ⅱ	3後	2								兼1	
	有機化学Ⅰ	3前	2								兼1	
	有機化学Ⅱ	3後	2								兼1	
	高分子化学	3後	2								兼1	
	物理化学Ⅱ	3後	2								兼1	
	力学	3前	2								兼1	
	電気化学	3前	2								兼1	
	電気工学	3前	2								兼1	
	電磁気学	3後	2								兼1	
	界面科学	3後	2								兼1	
	環境分析学	3後	2								兼1	
	都市と防災	3・4後	2								兼1	
小計(49科目)	-	0	98	0	4	2	1	0	0	0	兼16	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
演習科目	基礎ゼミナールⅠ	2前	2			3	3	2				
	基礎ゼミナールⅡ	2後	2			3	3	2				
	専門探究ゼミナールⅠ	3前	2			5	3	3				
	専門探究ゼミナールⅡ	3後	2			5	3	3				
	専門探究ゼミナールⅢ	3後	2			5	3	3				
	専門探究ゼミナールⅣ	4前	2			5	3	3				
	知識集約型研究プロジェクトⅠ	4前	4			5	3	3				
	知識集約型研究プロジェクトⅡ	4後	6			5	3	3				
	小計(8科目)	-	18	4	0	5	3	3				
	合計(143科目)	-	52	233		7	3	3	0	0	兼47	

卒業要件及び履修方法

必修・選択必修科目を含め、一般教育科目から39単位以上、学環専門科目から59単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
演習科目	基礎ゼミナールⅠ	2前	2			3	3	4				
	基礎ゼミナールⅡ	2後	2			3	3	4				
	専門探究ゼミナールⅠ	3前	2			5	3	6				
	専門探究ゼミナールⅡ	3後	2			5	3	6				
	専門探究ゼミナールⅢ	3後	2			5	3	6				
	専門探究ゼミナールⅣ	4前	2			5	3	6				
	知識集約型研究プロジェクトⅠ	4前	4			5	3	6				
	知識集約型研究プロジェクトⅡ	4後	6			5	3	6				
	小計(8科目)	-	18	4	0	5	3	6				
	合計(133科目)	-	52	237		6	3	6	0	0	兼50	

卒業要件及び履修方法

必修・選択必修科目を含め、一般教育科目から39単位以上、学環専門科目から59単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- 「桐蔭キャリアゲート」の担当教員等の配置を准教授1講師1から准教授1講師4に変更。
- 「英語コミュニケーションⅠ」の担当教員等の配置を兼15から兼7に変更。
- 「英語コミュニケーションⅡ」の担当教員等の配置を15から兼7に変更。
- 「英語コミュニケーションⅢ」の担当教員等の配置を3から兼1に変更。
- 「英語コミュニケーションⅣ」の担当教員等の配置を3から兼1に変更。
- 「地域の科学」の担当教員等の配置を講師1から准教授1に変更。
- 「サステナブル社会学」の担当教員等の配置を講師1から准教授1に変更。
- 「ビジネスの科学」の担当教員等の配置を准教授1から講師1に変更。
- 「マーケティング各論」の担当教員等の配置を准教授2から講師2に変更。
- 「アントレプレナーシップ」の担当教員等の配置を准教授1から兼1に変更。
- 「異文化の科学」の担当教員等の配置を准教授1から講師1に変更。
- 「言語文化論」の担当教員等の配置を教授1から講師1に変更。
- 「表現とコミュニケーション」の担当教員等の配置を教授1から講師1に変更。
- 「青年と心理学」の担当教員等の配置を教授1から兼1に変更。
- 「科学技術の未来」の担当教員等の配置を教授2から教授2講師1に変更。
- 「地域政治論」の担当教員等の配置を教授1から兼1に変更。
- 「マーケティング・リサーチ」の担当教員等の配置を准教授1から講師1に変更。
- 「ウェブ・コミュニケーション」の配当年次、担当教員等の配置をそれぞれ2前、教授1から2後、准教授1に変更。
- 「現代ビジネス論」の担当教員等の配置を准教授1から講師1に変更。
- 「異文化リサーチ」の担当教員等の配置を准教授1から講師1に変更。
- 「ファッション文化論」の担当教員等の配置を教授1から教授1兼1に変更。
- 「ボランティア論」の配当年次を1後から1前・後に変更。
- 「国際コミュニケーション実習」を新規追加。
- 「ことばのスキル」の配当年次、担当教員等の配置をそれぞれ1後、准教授1から1前・後、教授1に変更。
- 「アスリート・クロス」の配当年次、担当教員等の配置をそれぞれ2前、准教授1から2後、准教授2に変更。
- 「MAST特別講義」の担当教員等の配置を教授1から教授1兼4に変更。
- 「フィールドスタディⅠ」の担当教員等の配置を教授1から講師2に変更。
- 「フィールドスタディⅡ」の担当教員等の配置を教授1から講師2に変更。
- 「国際コミュニケーション学研究法」の担当教員等の配置を准教授1から講師1に変更。
- 「基礎ゼミナールⅠ」の担当教員等の配置を教授3准教授3講師2から教授3准教授3講師4に変更。
- 「基礎ゼミナールⅡ」の担当教員等の配置を教授3准教授3講師2から教授3准教授3講師4に変更。
- 「専門探究ゼミナールⅠ」の担当教員等の配置を教授5准教授3講師3から教授5准教授3講師5に変更。
- 「専門探究ゼミナールⅡ」の担当教員等の配置を教授5准教授3講師3から教授5准教授3講師5に変更。
- 「専門探究ゼミナールⅢ」の担当教員等の配置を教授5准教授3講師3から教授5准教授3講師5に変更。
- 「専門探究ゼミナールⅣ」の担当教員等の配置を教授5准教授3講師3から教授5准教授3講師5に変更。
- 「知識集約型研究プロジェクトⅠ」の担当教員等の配置を教授5准教授3講師3から教授5准教授3講師5に変更。
- 「知識集約型研究プロジェクトⅡ」の担当教員等の配置を教授5准教授3講師3から教授5准教授3講師5に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	120 科目	0 科目	143 科目	23 科目 []	110 科目 [+1△11]	0 科目 []	133 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教師論	2	1前	一般	選択	現代教養学環においては、教職課程を申請しないため、他学部履修が可能としながら科目表から削除することとした。
2	教育心理学	2	1後	一般	選択	同上
3	教育原理・教育課程論	2	2前	一般	選択	同上
4	特別支援教育指導論	2	2後	一般	選択	同上
5	教育社会論（学校安全を含む）	2	2前	一般	選択	同上
6	道徳教育指導論	2	2前	一般	選択	同上
7	教育方法論	2	2後	一般	選択	同上
8	生徒指導論	2	3前	一般	選択	同上
9	教育相談・キャリア教育指導論	2	2後	一般	選択	同上
10	特別活動・総合的な学習の時間指導法	2	3後	一般	選択	同上
11	ICT活用スキルの理論と実際	2	3前	一般	選択	同上

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

現代教養学環においては、教職課程を申請しないため、他学部履修が可能としながら科目表から削除することとした。学生に対しては、シラバス、時間割等で丁寧に周知を行なった。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{11}{143} = \boxed{7.69}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	51,785.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	51,785.00 m ²				
	運動場用地	31,979.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	31,979.00 m ²				
	小 計	83,764.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	83,764.00 m ²				
	そ の 他	0.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²				
	合 計	83,764.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	83,764.00 m ²				
(2) 校舎	専 用	41,592.98m ²	0.00m ²	共用する他の学校等の専用	計				
	(41,592.98m ²)	(0.00m ²)	(0.00m ²)	(0.00m ²)	(41,592.98m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	19室	23室	29室	4室 (補助職員 0人)	6室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和5年3月教員2名退職・令和5年4月教員3名を新規採用のため(5)			
	現代教養学環		13 12 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数	
	現代教養学環	200,715 [200,715] (58,342 [58,342])	605 [605] (124 [124])	63 [63] (63 [63])	1867 (-1867)	0 (0)	0 (0)		
	計	200,715 [200,715] (58,342 [58,342])	605 [605] (124 [124])	63 [63] (63 [63])	1867 (-1867)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	3,141.37 m ²	413		209725					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	3,637.00 m ²	ラ グ ビ ー 場 1 面 野 球 場 1 面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当たり研究費等	650千円	650千円	図書購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	
	共同研究費等	20,000千円	20,000千円	設備購入費	20,000千円	20,000千円	20,000千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,230千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、補助金収入、資産運用収入、雑収入等を充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、**その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入**してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	桐 蔭 横 浜 大 学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	3	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
法学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度	神奈川県横浜市青葉区緑町1614					
法律学科	4	180	10	740	学士(法学)	1.10	1.10	1.03	1.01	-	平成5年度	同上					
医用工学部						0.89	0.89	0.88	0.82	-		同上					
生命医工学科	4	40	-	160	学士(医用工学)	0.95	0.95	0.95	0.83	-	平成21年度	同上					
臨床工学科	4	40	-	160	学士(医用工学)	0.84	0.84	0.81	0.81	-	平成17年度	同上					
スポーツ健康政策学部						1.17	1.17	1.13	1.09	-		同上	※令和5年度より学生募集停止				
スポーツ教育学科	4	80	-	240	学士(スポーツ健康政策学)	1.20	1.20	1.19	1.15		平成20年度	同上	※令和5年度より学生募集停止				
スポーツテクノロジー学科	4	110	-	330	学士(スポーツ健康政策学)	1.14	1.14	1.07	1.04		平成20年度	同上	※令和5年度より学生募集停止				
スポーツ健康政策学科	4	80	-	240	学士(スポーツ健康政策学)	1.19	1.19	1.16	1.11		平成20年度	同上	※令和5年度より学生募集停止				
スポーツ科学部						1.53	1.53	1.53	1.53			同上					
スポーツ教育学科	4	120【40】	-	480【160】	学士(スポーツ科学)	1.36	1.36	1.36	1.36		令和5年度	同上	※□：内数として現代教養学環へ入学定員を割り当てた人数				
スポーツ健康科学科	4	150【30】	-	600【120】	学士(スポーツ科学)	1.64	1.64	1.64	1.64		令和5年度	同上	※□：内数として現代教養学環へ入学定員を割り当てた人数				
現代教養学環	4	70	-	280	学士(学術)	0.59	0.59	0.59	0.59		令和5年度	同上					
大学全体	4	530	10	2140	-	-	-	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<現代教養学環>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授(課程長)	並木 浩一 (62) (高) <令和5年4月> 博士(学術) 視覚文化論 MAST特別実習 MAST特別講義 ウェブコミュニケーション ビジネスアイデアデザイン ファッション文化論 現代社会と学術研究 広告論 言語文化交流論 国際観光論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ	専	教授(学環長)	並木 浩一 (62) (高) <令和5年4月> 博士(学術) 視覚文化論 MAST特別実習 MAST特別講義 ビジネスアイデアデザイン ファッション文化論 現代社会と学術研究 広告論 言語文化交流論 国際観光論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
専	教授	片山 富美代 (62) (高) <令和5年4月> 博士(学術) 健康と心理学 集団と心理学 幸せと心理学 意思決定と心理学 自己調整と心理学 キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ ロジカルライティング ロジカルコミュニケーション 心理学研究法 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ	専	教授	片山 富美代 (62) (高) <令和5年4月> 博士(学術) 健康と心理学 集団と心理学 幸せと心理学 意思決定と心理学 自己調整と心理学 キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ ロジカルライティング ロジカルコミュニケーション 心理学研究法 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
専	教授	武田 佳子 (60) <令和5年4月> 修士(教育学) キャリアアトラクション キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ ソーシャル・コミュニケーション	専	教授	武田 佳子 (60) <令和5年4月> 修士(教育学) キャリアアトラクション キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ ソーシャル・コミュニケーション
専	教授	林田 はるみ (57) <令和5年4月> 地域における健康課題 コミュニティ・ファシリテーション 地域政策論 地域観光事業論 フィールドスタディⅠ フィールドスタディⅡ フィールドスタディⅢ フィールドスタディⅣ 現代社会の科学 地域社会学研究法 地域共生論 地域共生実践 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ	専	教授	林田 はるみ (57) <令和5年4月> 地域における健康課題 コミュニティ・ファシリテーション 地域観光事業論 フィールドスタディⅢ フィールドスタディⅣ 現代社会の科学 地域社会学研究法 地域共生論 地域共生実践 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ プロジェクト入門
専	教授	池上 和志 (49) <令和5年4月> 博士(理学) 科学技術の未来 地球環境の科学 数学Ⅰ 数学Ⅱ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ	専	教授	池上 和志 (49) <令和5年4月> 博士(理学) 科学技術の未来 地球環境の科学 数学Ⅰ 数学Ⅱ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ プロジェクト入門
専	教授	宮坂 力 (69) (高) <令和5年4月> 工学博士 科学技術の未来 地球環境の科学 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ	専	教授	宮坂 力 (69) (高) <令和5年4月> 工学博士 科学技術の未来 地球環境の科学 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
専	教授	岡田 俊恵 (69) (高) <令和5年4月> 文学修士 言語文化論 表現とコミュニケーション			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	齋藤 れい (48) <令和5年4月> 博士(スポーツ科学)	専	准教授	齋藤 れい (48) <令和5年4月> 博士(スポーツ科学)
		ビジネスの科学 マーケティング論 アントレプレナーシップ プロジェクト入門 マーケティング・リサーチ 現代ビジネス論 分野横断型プロジェクト マーケティング学研究法 スポーツマーケティング論 スポーツマネジメント論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ			アントレプレナーシップ プロジェクト入門 現代ビジネス論 分野横断型プロジェクト マーケティング学研究法 スポーツマーケティング論 スポーツマネジメント論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ アスリート・クロス
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	上畠 洋佑 (42) <令和5年4月> 修士(教育学)	専	准教授	
		異文化の科学 プロジェクト入門 異文化リサーチ フード文化論 若者文化論 分野横断型プロジェクト ことばのスキル 国際コミュニケーション学研究法 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ			
専	准教授	高潮 武志 (37) <令和5年4月> 体育学修士	専	准教授	高潮 武志 (37) <令和5年4月> 体育学修士
		桐蔭キャリアゲート 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ アスリートの科学 アスリートキャリア アスリート・クロス リーダーシップ教育 ライフスキル 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ			体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ アスリートの科学 アスリートキャリア アスリート・クロス リーダーシップ教育 ライフスキル 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
専	講師	柴山 直之 (41) <令和5年4月> 博士(工学)	専	講師	柴山 直之 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		地球環境の科学 プロジェクト入門 分野横断型プロジェクト 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ			地球環境の科学 プロジェクト入門 分野横断型プロジェクト 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
専	講師	松井 晋作 (39) <令和5年4月> 修士(文学)	専	准教授	松井 晋作 (39) <令和5年4月> 修士(文学)
		桐蔭キャリアゲート 地域の科学 サステナブル社会学 プロジェクト入門 横浜地域学 実践地域創成学 分野横断型プロジェクト 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ			桐蔭キャリアゲート 地域の科学 サステナブル社会学 プロジェクト入門 横浜地域学 実践地域創成学 分野横断型プロジェクト 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		
専任	講師	溝口 侑 (35) <令和5年4月> 修士(教育学)	溝口 侑 (35) <令和5年4月> 修士(教育学)
		桐蔭スキルゲート データコミュニケーション入門 心の科学 こころの世界 青年と心理学 プロジェクト入門 集団と心理学 意思決定と心理学 自己調整と心理学 分野横断型プロジェクト デジタルスキル データコミュニケーション 心理統計解析 社会・文化と心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ	桐蔭キャリアゲート 桐蔭スキルゲート データコミュニケーション入門 心の科学 こころの世界 プロジェクト入門 集団と心理学 意思決定と心理学 自己調整と心理学 分野横断型プロジェクト デジタルスキル データコミュニケーション 心理統計解析 社会・文化と心理学 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
			杉本 豊彦 (39) <令和5年4月> ビジネス学修士 環境学修士
	専任	講師	桐蔭キャリアゲート ビジネスの科学 マーケティング・リサーチ ウェブ・コミュニケーション 現代ビジネス論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
			植野 準太 (39) <令和5年4月> 修士(政策・メディア) MBA
	専任	講師	桐蔭キャリアゲート マーケティング各論 プロジェクト入門 分野横断型プロジェクト 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
			松本 理子 (31) <令和5年4月> 修士(政策・メディア)
	専任	講師	桐蔭キャリアゲート 異文化の科学 異文化文化論 教育とコミュニケーション プロジェクト入門 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ
	兼任	教授	清上 慎一 (53) <令和5年4月> 博士(教育学)
			ことばのスキル
兼任	教授	福井 康佐 (61) <令和5年4月> 博士(法学)	福井 康佐 (61) <令和5年4月> 博士(法学)
		租税法	租税法
兼任	教授	原 千砂子 (67) <令和5年4月> 法学修士	原 千砂子 (67) <令和5年4月> 法学修士
		比較政治制度論 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	比較政治制度論 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	阿部 憲二 (59) <平成19年9月> 教育学博士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	中野 英之 (53) <令和5年4月> 博士(地球環境科学)	地球と環境
兼任	教授	升 信夫 (65) <令和5年4月> 法学博士	政治学
兼任	教授	宮津 大蔵 (63) <令和5年4月> 教育学士	ボランティア論 ボランティア実習
兼任	教授	日比野 暢子 (56) <令和5年4月> 博士(スポーツ政策学・スポーツマネジメント学)	海外実習 国際交流論 国際コミュニケーション実習
兼任	教授	竹内 明世 (53) <令和5年4月> 修士(法学)	キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ
兼任	教授	徳岡 由一 (57) <令和5年4月> 博士(工学)	化学 分析化学 機器分析化学 基礎光学 サステナブル工学研究法Ⅰ サステナブル工学研究法Ⅱ 無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 電気化学 界面科学
兼任	教授	佐藤 豊 (60) <令和5年4月> 教育学修士	教師論 ICT活用スキルの理論と実際
兼任	教授	亀岡 聖朗 (56) <令和5年4月> 博士(心理学)	教育心理学 教育相談・キャリア教育指導論
兼任	教授	出口 雄一 (50) <令和5年4月> 博士(法学)	法哲学
兼任	准教授	李 禧承 (49) <令和5年4月> 博士(教育学)	教育学 ICT活用スキルの理論と実際 教育方法論
兼任	准教授	長濱 博文 (55) <令和5年4月> 博士(教育学)	教育原理・教育課程論 市民形成論
兼任	准教授	栗山 裕 (66) <令和5年4月> 学術博士	デジタル産業論
兼任	准教授	太田 英輔 (43) <令和5年4月> 博士(理学)	有機化学基礎 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 高分子化学
兼任	准教授	佐藤 国正 (39) <令和5年4月> 修士(体育科学)	キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	阿部 憲二 (50) <平成19年9月> 教育学博士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	中野 英之 (53) <令和5年4月> 博士(地球環境科学)	地球と環境
兼任	教授	升 信夫 (65) <令和5年4月> 法学博士	政治学
兼任	教授	宮津 大蔵 (63) <令和5年4月> 教育学士	ボランティア論 ボランティア実習
兼任	教授	日比野 暢子 (56) <令和5年4月> 博士(スポーツ政策学・スポーツマネジメント学)	海外実習 国際交流論 国際コミュニケーション実習
兼任	教授	竹内 明世 (53) <令和5年4月> 修士(法学)	キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ
兼任	教授	徳岡 由一 (57) <令和5年4月> 博士(工学)	化学 分析化学 機器分析化学 基礎光学 サステナブル工学研究法Ⅰ サステナブル工学研究法Ⅱ 無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 電気化学 界面科学
兼任	講師	出口 雄一 (50) <令和5年4月> 博士(法学)	法哲学
兼任	准教授	長濱 博文 (55) <令和5年4月> 博士(教育学)	市民形成論
兼任	講師	栗山 裕 (66) <令和5年4月> 学術博士	デジタル産業論
兼任	准教授	太田 英輔 (43) <令和5年4月> 博士(理学)	有機化学基礎 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 高分子化学
兼任	准教授	佐藤 国正 (39) <令和5年4月> 修士(体育科学)	キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大沼 健太郎 (48) <令和5年4月> 博士(工学)	物理Ⅰ 物理Ⅱ 力学 電磁気学 電気工学
兼任	講師	山口 智子 (39) <令和5年4月> 博士(理工学)	物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 環境分析学
兼任	講師	山内 忍 (47) <令和5年4月> 博士(工学)	キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ
兼任	助教	浅岡 慶太 (48) <令和5年4月> 修士(法学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	助教	大辻 康太 (32) <令和5年4月> 修士(教育学)	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
兼任	客員教授	吉原 晶子 (66) <令和5年4月> 学士(教育学)	特別活動・総合的な学習の時間 指導法
兼任	客員教授	ベマ・ギャルボ (69) <令和5年4月> 学士(法学)	国際政治論
兼任	講師	池田 敦子 (69) <令和5年4月> 修士(教育学)	特別支援教育指導論
兼任	講師	山口 晶子 (40) <令和5年4月> 修士(教育学)	教育社会論(学校安全を含む)
兼任	講師	矢作 信行 (66) <令和5年4月> 修士(学術)	道徳教育指導論
兼任	講師	前田 善仁 (57) <令和5年4月> 修士(教育学)	生徒指導論
兼任	講師	岡崎 理香 (62) <令和5年4月> 修士(法学)	行政学
兼任	講師	柳 綾子 (36) <令和5年4月> 博士(経営学)	会計学
兼任	講師	落合 晃 (57) <令和5年4月> 博士(医学)	統合医療学概論
兼任	講師	徳本 宏孝 (56) <令和5年4月> 修士(法学)	地方自治法
兼任	講師	岡田 昭人 (65) <令和5年4月> 修士(工学)	都市と防災

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大沼 健太郎 (48) <令和5年4月> 博士(工学)	物理Ⅰ 物理Ⅱ 力学 電磁気学 電気工学
兼任	講師	山口 智子 (39) <令和5年4月> 博士(理工学)	物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 環境分析学
兼任	講師	山内 忍 (47) <令和5年4月> 博士(工学)	キャリアセミナーⅠ キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ
兼任	助教	浅岡 慶太 (48) <令和5年4月> 修士(法学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	助教	大辻 康太 (32) <令和5年4月> 修士(教育学)	体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
兼任	客員教授	吉原 晶子 (66) <令和5年4月> 学士(教育学)	特別活動・総合的な学習の時間 指導法
兼任	客員教授	ベマ・ギャルボ (69) <令和5年4月> 学士(法学)	国際政治論
兼任	講師	池田 敦子 (69) <令和5年4月> 修士(教育学)	特別支援教育指導論
兼任	講師	山口 晶子 (40) <令和5年4月> 修士(教育学)	教育社会論(学校安全を含む)
兼任	講師	矢作 信行 (66) <令和5年4月> 修士(学術)	道徳教育指導論
兼任	講師	前田 善仁 (57) <令和5年4月> 修士(教育学)	生徒指導論
兼任	講師	岡崎 理香 (62) <令和5年4月> 修士(法学)	行政学
兼任	講師	柳 綾子 (36) <令和5年4月> 博士(経営学)	会計学
兼任	講師	落合 晃 (57) <令和5年4月> 博士(医学)	統合医療学概論
兼任	講師	徳本 宏孝 (56) <令和5年4月> 修士(法学)	地方自治法
兼任	講師	岡田 昭人 (65) <令和5年4月> 修士(工学)	都市と防災

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	須田 和人 (57) <令和5年4月> 修士(体育学)	須田 和人 (57) <令和5年4月> 修士(体育学)
		大学スポーツ論	大学スポーツ論
兼任	講師	藤本 健太郎 (37) <令和5年4月> 博士(文学)	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	鈴木 真二 (57) <令和5年4月> 学士(フランス文学)	鈴木 真二 (57) <令和5年4月> 学士(フランス文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	加賀美 直子 (53) <令和5年4月> 学士(外国文化)	加賀美 直子 (53) <令和5年4月> 学士(外国文化)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	東山 志帆 (44) <令和5年4月> 修士(学術)	東山 志帆 (44) <令和5年4月> 修士(学術)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	杉下 文子 (52) <令和5年4月> 修士(教育学)	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	マリア フランシスカ (24) <令和5年4月> MA English and British Literature	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	マクス ケン デグラー (38) <令和5年4月> Master of Arts in TESOL	マクス ケン デグラー (38) <令和5年4月> Master of Arts in TESOL
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	デヴィン ジェリ- グー マソック (35) <令和5年4月> Masters in Education with specialization in English Language	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	マクス ジェー-ズ アラドラー (37) <令和5年4月> Master of Arts (TESOL)	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	鈴木 暲 (49) <令和5年4月> Master of Arts in Chemistry	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	マート ガニル ジェ-ズ (37) <令和5年4月> MA in Education	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	ケラル カストラー マイケル (47) <令和5年4月> Masters degree in Applied language studies for TESOL	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	
兼任	講師	カン フライア (54) <令和5年4月> MSc SEM (Sport & Exercise Medicine) PGCert. (Anatomical Sciences)	
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	百倉 裕子 (56) <令和5年4月> ■ Ed TESOL
					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	江原 誠 (40) <令和5年4月> 学士(社会福祉学)
					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	グローヴス サヤカ (41) <令和5年4月> Bachelor of Arts
					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	城石 敏子 (57) <令和5年4月> 修士(文学)
					MAST特別講義
			兼任	講師	岸 エヴェリン (47) <令和5年4月> 博士(人文学)
					MAST特別講義
			兼任	講師	倉 三替 (62) <令和5年4月> 博士(文学)
					MAST特別講義
			兼任	講師	本田 周二 (42) <令和5年4月> 博士(社会心理学)
					青年と心理学
			兼任	講師	金澤 誠 (35) <令和5年4月> 経営管理修士(MBA)
					アントレプレナーシップ
			兼任	講師	桐倉 昌雄 (39) <令和5年4月> 博士(政治学)
					地域政治論
			兼任	講師	名畑 政治 (63) <令和5年4月> 文学士
					ファッション文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	高橋一彰 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
					持続可能な開発と法
			兼任	講師	香場 直之 (51) <令和5年4月> 経営学修士
					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順)に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- 岡田教授の退職に伴い、削除。
- 上島准教授の退職に伴い、削除。
- 杉本講師が就任し、13科目を担当。
- 松木講師が就任し、13科目を担当。
- 植野講師が就任し、12科目を担当。
- 上島准教授の退職に伴い、2科目を並木教授に変更。
- 林田教授の担当科目を見直し、3科目削除、1科目追加。
- 池上教授の担当科目を見直し、1科目追加
- 齋藤准教授の担当科目を見直し、3科目削除、1科目追加。
- 高瀬准教授の担当科目を見直し、1科目削除。
- 松井講師の職位を昇任に伴い准教授に変更。
- 溝口講師の担当科目を見直し、1科目削除、1科目追加。
- 上島准教授の退職に伴い、1科目を溝上教授（兼任）に変更。
- 科目の追加に伴い、日比野教授（兼任）に1科目追加。
- 一般教育科目のキャリアプログラムの配置変更に伴い、佐藤教授（兼任）、亀岡教授（兼任）、李准教授（兼任）、吉原講師（兼任）、池田講師（兼任）、山口講師（兼任）、矢作講師（兼任）、前田講師（兼任）を削除。
- 一般教育科目の配置変更に伴い、長濱准教授（兼任）の担当科目を1科目削除。
- 出口教授（兼任）の退職に伴い、講師（兼任）に変更。
- 栗山准教授（兼任）の退職に伴い、講師（兼任）に変更。
- 一般教育科目の配置変更に伴い、藤本講師（兼任）、杉下講師（兼任）、ラミレス講師（兼任）、デザイン講師（兼任）、ストークス講師（兼任）、鈴木講師（兼任）、アーネット講師（兼任）、グラール講師（兼任）、カーン講師（兼任）を削除。
- 一般教育科目の配置変更に伴い、吉倉講師（兼任）、江原講師（兼任）、グローヴス講師（兼任）、城石講師（兼任）、岸講師（兼任）、兪講師（兼任）、本田講師（兼任）、金澤講師（兼任）、繩倉講師（兼任）、高橋講師（兼任）、番場講師（兼任）を追加、名畑講師（兼任）を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	7
14	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	2	3	0	11	0	6	3	5	0	14	0
(6)	(3)	(5)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	3	5	0	14	0	5	3	5	0	13	0
[]	[+1]	[+2]	[]	[+3]	[]	[Δ1]	[+1]	[+2]	[]	[+2]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63	1	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{11} = \boxed{127.27} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目		必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	岡田俊恵	R5.3	選択	言語文化論	①	R4.12.31付けで本人提出の退職願に基づき辞任(5)			
				選択	表現とコミュニケーション	①				
2	準教授	上島洋祐	R4.12	必修	異文化の科学	①		R4.12.31付けで本人提出の退職願に基づき辞任(5)		
				必修	プロジェクト入門	①				
				選択	異文化リサーチ	③				
				選択	フード文化論	③				
				選択	若者文化論	③				
				必修	分野横断型プロジェクト	①				
				選択	ことばのスキル	①				
				選択	国際コミュニケーション学研究法	③				
				必修	基礎ゼミナールⅠ	①				
				必修	基礎ゼミナールⅡ	①				
				必修	専門探究ゼミナールⅠ	①				
				必修	専門探究ゼミナールⅡ	①				
必修	専門探究ゼミナールⅢ	①								
必修	専門探究ゼミナールⅣ	①								
必修	知識集約型プロジェクトⅠ	①								
必修	知識集約型プロジェクトⅡ	①								
合計(F)					後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	14	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
2	人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	14	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{11} = \boxed{18.18} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の交代に係っては現代教養学環の専任教員の科目の担当状況に配慮をしつつ、適切な科目運営の実施のために、専任教員および、兼任・兼任教員への科目担当者変更を行った。学生に対しては、シラバス、時間割等で丁寧に周知を行なった。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 【届出】 遵守事項	学年進行中に定年に達する教員について、当該分野でより優秀で適切な若手教員を獲得し、より持続可能性の高い年齢構成実現する方針を定めており、令和5年4月時点において講師を3名採用した。(5)	履行中 学年進行中に定年に達する教員について、当該分野でより優秀で適切な若手教員を獲得することで、より持続可能性の高い年齢構成実現する。(5)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<現代教養学環>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学環運営会議においてFD委員1名を選出し、FD委員が学環運営会議において審議事項等を提案し、FD活動を運営する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年4月20日に開催された学環運営会議において、FD委員よりFDの開催について提案があり、承認された。学環運営会議においては、FD委員を含め、9名が参加した。

c 委員会の審議事項等

- ・FD研修の企画・実施に関する事項
- ・その他教員の資質の維持向上に関する事項事項

② 実施状況

a 実施内容

FD研修プログラムの実施

b 実施方法

専任教員を講師として、「学生評価」に関する講演を実施し、意見交換を行うことで自身の授業を振り返る機会とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年5月25日 「学生評価について」 参加者10名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各自、講師から得た知見に基づき、それぞれの授業において実践することとした。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学として年2回、7月と12月に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

ホームページやLMSを通して公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

桐蔭横浜大学がこれまで培ってきた専門性の高い教育研究を基盤に、現代社会の変化にたくましく対応し、より良い未来社会の構築に積極的に関わっていくことのできる人材を育成することを目標とする現代教養学環の趣旨を丁寧に広報することができたが、募集時期等の関係でやや広さを欠き、入学者の十分な確保には至らなかった。今後は高大連携・入試広報活動を強化し、積極的かつ丁寧に趣旨を説明し、入学者確保に努めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和6年6月1日を予定。

b 公表方法

桐蔭横浜大学ホームページ上にて公開を予定。

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

令和7年度に大学基準協会の認証評価の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [公表後2～3ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
6	2	3	0	11	0	6	3	5	0	14	0
(6)	(3)	(5)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
6	3	5	0	14	0	5	3	5	0	13	0
[]	[+1]	[+2]	[]	[+3]	[]	[Δ1]	[+1]	[+2]	[]	[+2]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員数未承認済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学級等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 現在（報告時）の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
63 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{14}{11} = \boxed{127.27} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連携課程実施基本組織（学科連携課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連携協力学部等（連携協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連携協力学部等（連携協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
11	4	2	2	19	0	16	7	2	2	27	0
(16)	(7)	(2)	(2)	(27)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
16	7	2	2	27	0	9	7	2	2	20	0
[+5]	[+3]	[]	[]	[+8]	[]	[Δ2]	[+3]	[]	[]	[+1]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査未受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数、届出で設置された学級等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連携協力学部等（連携協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連携協力学部等（連携協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	3	4	1	12	0	6	4	3	1	14	0
(6)	(4)	(3)	(1)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	4	3	1	14	0	4	4	3	1	12	0
[+2]	[+1]	[Δ1]	[]	[+2]	[]	[]	[+1]	[Δ1]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査未受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学級等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連携協力学部等（連携協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連携協力学部等（連携協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	2	4	0	11	0	5	2	4	0	11	0
(5)	(2)	(4)	(0)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	2	4	0	11	0	5	2	4	0	11	0
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査未受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学級等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連携協力学部等（連携協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連携協力学部等（連携協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	3	3	0	14	0	7	5	3	0	15	0
(7)	(5)	(3)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	5	3	0	15	0	7	4	3	0	14	0
[Δ1]	[+2]	[]	[]	[+1]	[]	[Δ1]	[+1]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査未受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学級等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連携協力学部等（連携協力量科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連携協力学部等（連携協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	4	3	0	15	0	10	5	5	0	20	0
(10)	(5)	(5)	(0)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	5	5	0	20	0	8	5	5	0	18	0
[+2]	[+1]	[+2]	[]	[+5]	[]	[]	[+1]	[+2]	[]	[+3]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査未受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数、届出で設置された学級等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）